

# 有朋自遠方来，不亦樂

## 中国が作る世界情勢

- 中国の戦略はグローバルで骨太
- 目まぐるしく変わる中国の動向は継続ウオッチが必須
- 中国の社会変化、政府動向は、リアルな体感が必要  
企業交流を通じてこれらを感じ、知ることができる

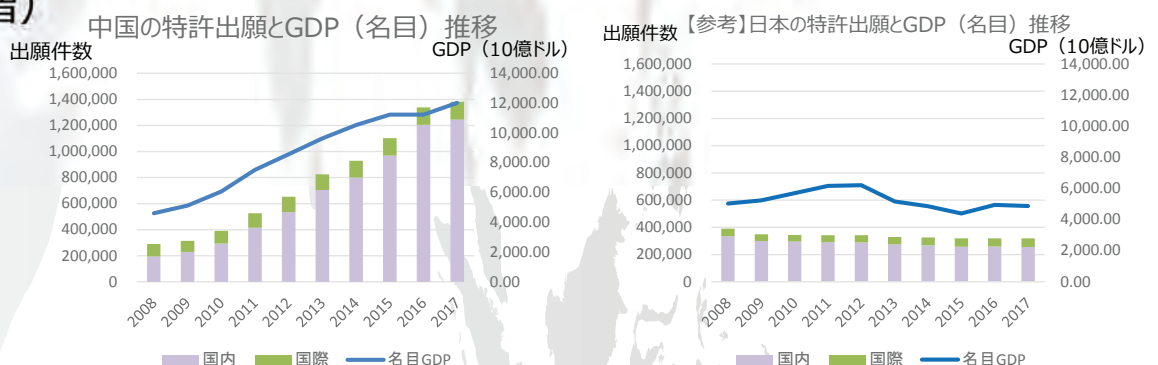
## 日中企業連携プロジェクト

- 中国企業/政府系団体\*との長期にわたる友好関係に基づく連携会議  
\* 中国専利保護協会 (PPAC)、上海市知識産権局/知識産権服務中心、広東省知識産権局/知識産権研究会
- 中国企業と知財戦略を直接話し合える重要なプラットフォーム
- 中国の知財動向を通じて世界の知財情勢の一端が見える
- 知財議論を通じた日中企業の相互理解、相互発展を目的に  
2005年の『日中企業連携・知財フォーラム』として上海で始まる
- 互学、互習の精神で始まり現在では、経験と課題を共有



## 知財を巡る中国事情

- 骨太の経済政策/知財政策への官民一体となった取組  
✓ 『一帯一路』・『中国製造2025』・『インターネット+』  
✓ スタートアップ/ユニコーン/成長企業が急増、世界シェア上位企業も
- 経済成長に呼応する右肩上がりの中国特許出願
- 特許侵害訴訟も急増 (2017年の特許侵害訴訟は1.6万件、前年比29.5%増)



# 有朋自遠方來，不亦樂

## 2017年度連携会議

- 日時：2018年3月19日（広東省広州市）22日（浙江省舟山市）
- メンバー  
日本側：ソニー、富士通、古野電気、旭化成、キヤノン、三菱電機、ダイセル、味の素、村田製作所、東レ、パナソニック  
中国側：Midea（美的集団）、CVTE（広州視源電子）、白雲山製薬、北京市立方（広州）律師、テンセント、ZTE、GREE  
深圳世紀恒程知識産権代理事務所（以上、広州連携会議）  
Haier、GEELY、BYD、SUPOR、海正グループ、CHENLONG、緑葉製薬、横店東磁
- 二つのテーマ『事業戦略に基づく知財活用』／『会社の発展に基づく知財組織設定と人材育成』で日中双方の企業が自社の取組、課題をプレゼン後に議論。
- 会議で見た中国企業の知財戦略（詳細は『知財管理』誌2018年9月号に掲載）
  - ✓ 殆どの企業で知財部門は経営層直下
  - ✓ 経験を実務に確実にフィードバックし、垂直的に知財ポートフォリオの充実・強化
  - ✓ 国際的なM&Aなどにより強化した技術力をマネジメントするための組織力の積極的な強化
  - ✓ 具体的なマーケット、競合の設定などにより知財を梃子に事業を発展させるという明確な目的意識



広州会議登壇者集合写真



広州会議風景



舟山会議風景

## 2019年3月日本開催

JIPA会員企業に還元する最大の機会（現在の中国知財事情がリアルに伝わる）

- 日時：2019年3月5日（火）
- 場所：飯田橋レインボーホール
- 参加予定中国企業：Tencent、美的（Midea）、格力、白雲山製薬、奥翼電子等